

## 2022年3月期 決算補足資料

(2021年4月1日～2022年3月31日)

### 1. 2022.3期 実績

(百万円)

	'22.3実績	'22.3 期首予想 (21/5/13発表)	予想比		'21.3実績	前期比	
			増減	増減率		増減	増減率
売上高	34,851	32,200	+2,651	+8.2%	27,734	+7,117	+25.7%
営業利益	4,495	4,550	-54	-1.2%	2,248	+2,246	+99.9%
経常利益	5,395	4,650	+745	+16.0%	3,024	+2,370	+78.4%
当期純利益	3,733	3,650	+83	+2.3%	4,262	-528	-12.4%
研究開発費	9,005	7,900	+1,105	+14.0%	7,209	+1,795	+24.9%
研究開発費率(ロイヤリティー除く)	29.2%	28.3%	+0.9pt	-	26.7%	+2.5pt	-
営業利益率	12.9%	14.1%	-1.2pt	-	8.1%	+4.8pt	-
1株当たり当期純利益(円)	66.32	64.68	+1.64	-	75.54	-9.22	-
期中平均レート(US\$/円)	112.38	105.00	+7.38	-	106.06	+6.32	-

#### <実績と予想との差異要因>

売上高 : ACC社の販売好調によるLAL事業の上振れに円安効果も加わり期首予想を上回る。  
(+2,651)

営業利益 : 増収効果があったものの、売上構成比の変動による原価率の上昇や、  
(-54) 米国で実施中の腰椎椎間板ヘルニア治療剤SI-6603の組み入れ促進により、  
研究開発費が上振れたことから期首予想を下回る。

経常利益 : 外貨建て運用資産の為替評価の円安効果により期首予想を上回る。  
(+745)

### 2. 損益計算書の状況

#### ①原価率

	'22.3実績	'21.3実績 <sup>※</sup>	前期比 増減
原価率	41.1%	43.7%	-2.6pt
原価率(ロイヤリティー除く)	46.4%	44.8%	+1.6pt

※2021年3月期実績は新会計基準等により遡及修正

#### ②販管费率

	'22.3実績	'21.3実績 <sup>※</sup>	前期比 増減
販管费率	46.0%	48.2%	-2.2pt

※2021年3月期実績は新会計基準等により遡及修正

#### ③設備投資額・減価償却費

(百万円)

	'22.3実績	'21.3実績	前期比	
			増減	増減率
設備投資額	2,194	2,127	+66	+3.1%
減価償却費	1,051	808	+242	+30.0%

### 3. セグメント別売上高

#### 2022.3期 実績

(百万円)

	'22.3期 実績	'22.3期 期首予想 ( '21/5/13発表)	予想比		'21.3期 実績 ※	前期比	
			増減	増減率		増減	増減率
【医薬品事業】	25,696	25,150	+546	+2.2%	20,793	+4,903	+23.6%
国内医薬品	11,447	11,600	-152	-1.3%	11,452	-4	-0.0%
海外医薬品	7,652	6,900	+752	+10.9%	6,776	+875	+12.9%
医薬品原体・ 医薬品受託製造	2,607	2,350	+257	+10.9%	1,846	+760	+41.2%
ロイヤリティー	3,989	4,300	-310	-7.2%	718	+3,271	+455.6%
【LAL事業】	9,155	7,050	+2,105	+29.9%	6,941	+2,213	+31.9%
合計	34,851	32,200	+2,651	+8.2%	27,734	+7,117	+25.7%
(海外売上高)	17,918	14,500	+3,418	+23.6%	14,361	+3,557	+24.8%

### 4. 中期経営計画(2020年3月期～2022年3月期) 数値目標

(億円)

	'22.3期 実績		'22.3期 目標 ( '19/11発表)	達成率 (旧表示区分比)
	※2 新表示区分等	旧表示区分等		
売上高	348	312	283	+10.5%
経常利益	53.9	53.9	45	+19.9%
SKK EBITDA ※1	55.4	55.4	50	+10.9%
海外売上高比率 (ロイヤリティー除く)	56.6%	56.6%	50.0%	+6.6pt

新型コロナウイルス感染症拡大という不測の要素がありましたが、LAL事業を含む海外製品の伸長や、医薬品受託製造事業がセグメントに加わったことによりカバーし、全ての指標において目標数値を達成しました。

<計画時の前提条件>

- ① LAL事業を含めた海外売上高の拡大で国内薬価改定の影響をカバー
- ② 減損処理により減価償却費が減少
- ③ 研究開発費は対売上高比率 25～30%
- ④ 各種受取ロイヤリティーを営業外収益として織り込む
- ⑤ 為替レート: 対米ドル105円

※1 SKK EBITDA: 営業利益に減価償却費、受取ロイヤリティーを加えた当社独自の利益指標です。

※2 2022年3月期よりロイヤリティーの表示区分を営業外収益から売上高に変更しています。

### 5. 2023.3期 業績予想

連結業績予想につきましては、現在、取り組んでいる関節機能改善剤ジョイクルのショック、アナフィラキシー発現に関する原因究明の進捗を見極める必要があり、現時点では合理的に算定することが困難なため、公表を差し控えていただきます。当該業績予想については、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 6.主要財務指標の推移(連結)

(百万円/%)

	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3
売上高※1	31,434	27,559	29,206	27,734	34,851
うち、海外売上高※1	12,281	12,098	13,205	14,361	17,918
売上原価	13,008	13,114	12,513	12,112	14,323
販売費及び一般管理費※1	13,872	12,727	12,796	13,372	16,033
うち、研究開発費	8,408	7,148	6,877	7,209	9,005
営業利益※1	4,552	1,718	3,896	2,248	4,495
経常利益	5,327	2,859	3,981	3,024	5,395
当期純利益	3,922	2,244	-10,839	4,262	3,733
純資産	73,945	73,036	59,767	63,604	66,340
総資産	84,098	80,238	68,746	69,915	75,244
海外売上比率(ロイヤリティー除く)※1	41.5	43.8	46.8	50.5	56.6
原価率(ロイヤリティー除く)※1	46.0	48.9	45.9	44.8	46.4
販管费率※1	44.1	46.2	43.8	48.2	46.0
研究開発费率(ロイヤリティー除く)※1	29.7	26.7	25.2	26.7	29.2
営業利益率※1	14.5	6.2	13.3	8.1	12.9
経常利益率	17.7	10.1	13.9	10.9	15.5
当期純利益率	13.0	7.9	-	15.4	10.7
自己資本当期純利益率(ROE)※2	5.4	3.1	-	6.9	5.7
総資産経常利益率※2	6.5	3.5	5.3	4.4	7.4
総資本回転率(回)※2	0.37	0.35	0.39	0.40	0.48
自己資本比率	87.9	91.0	86.9	91.0	88.2
研究開発要員(人)	233	233	242	231	223
対全従業員比	32.5	31.3	27.9	25.3	23.8
従業員数(人)	718	744	868	913	937
設備投資額	1,591	1,310	2,109	2,127	2,194
減価償却費	2,925	2,902	1,778	808	1,051
1株当たり当期純利益(EPS)(円)	69.30	39.76	-192.15	75.54	66.32
期中平均株式数(千株)※3	56,604	56,451	56,412	56,425	56,299
1株当たり純資産(BPS)(円)	1,306.37	1,294.88	1,059.40	1,127.14	1,179.46
期末発行済株式数(千株)※3	56,604	56,403	56,416	56,429	56,246
1株当たり配当金(年間)(円)	26.00	26.00	26.00	24.00※4	30.00※5
配当性向	37.5	65.4	-	31.8	45.2
純資産配当率(DOE)	2.0	2.0	2.2	2.2	2.6

※1…新会計基準等により、2018.3～2021.3の数値を遡及修正しています。

※2…総資産、純資産は前期末と当期末の平均値を使用しています。

※3…自己株式を除いています。

※4…ジョイクル承認記念配当4円を含んでいます。

※5…ジョイクル発売特別配当10円を含んでいます。